

平成18年度 徳島県田園環境検討委員会（第1回）会議録

日 時：委員会 平成18年11月8日（水）13時30分～16時15分

場 所：徳島県庁10階特別大会議室

出席者：【委員】角野康郎委員長、上月康則副委員長、大原賢二、茨木靖、田村典子、三澤和夫、桑田トシエ、大栗邦子、植田美恵子、新居基昭（敬称略、10名中10名出席）

【県】農林水産部次長、農山村整備課長ほか

- 委員会次第：1 開 会
2 開会のあいさつ（農林水産部次長）
3 委員長あいさつ
4 議事（1）平成19年度農業農村整備事業新規予定地区の「環境との調和への配慮」について
（2）その他
5 閉会のあいさつ（農山村整備課長）
6 閉 会

《配布資料》

- 資料1 会議次第
- 資料2 配席図
- 資料3 環境配慮調書

- 会議録：1 開 会
2 開会のあいさつ：農林水産部次長からあいさつ
3 委員長あいさつ：委員長からあいさつ
4 議事（1）平成19年度農業農村整備事業新規地区の「環境との調和への配慮」について、県担当者より説明。

主な質疑概要

1．一般農道整備事業 赤谷2期地区

【委員】キジカクシを移植するということであるが、今まで30事業余り展開してきて移植等の、その後の生育状況は？

【県】次回の第2回目の委員会のときまでに、今までに移植等した地区についての生育状況等について取りまとめし、報告する。

2．ため池等整備事業 藤谷池地区

【委員】スズサイコについて、スズサイコだけが単体で生えているということはないわけで、スズサイコが生育するような植物群落というか生態系を残すというような視

点を持てば、より将来的にスズサイコが永続するような環境ができると思う。

【 県 】現状等十分また調査して、専門家にも相談しながらどのように移す必要があるかを検討する。

3．ため池等整備事業 一ノ坪地区

【委員】多孔質コンクリートブロックとはどのようなものか？

【 県 】コンクリートのブロックの表面に凸凹や空げきがあるものです。

生態系に対しては、その凸凹や空げきに土が入り、植物が根を張り生えて、植物が生息すれば水生生物がそこにすむことができると考えている。

4．河川工作物応急対策事業 大井堰地区

【委員】こういうタイプの魚道は、初めて見るが全国的に使われているのか？

【 県 】幅が2メートルぐらいの細い魚道が一般的ですが、環境配慮のため、こういうタイプも検討され徐々に造られている。

【委員】魚道にもいろんなタイプがあり、どういう魚種に対して有効かというのはいろいろあると思うので、特に回遊魚の場合は大事なので、配慮を十分考えてやってください。

5．湛水防除事業 上八万地区

【委員】排水ポンプは、常時稼働するのか？それとも湛水の恐れがあるときだけ稼働する予定のものか？

【 県 】常時ではではなく、洪水時だけ稼働する。

【委員】元々湿地環境が残っていた場所だが、すでに工事用地として使用したところに排水機を設置する工事で、排水機が稼働するのは洪水時だけということなので、通常のカワヂシャが残っているところは、そのまま湿地環境として残ると思う。

6．経営体育成基盤整備事業 段関地区

【委員】この地区は蓮田の広がっている地域で、未整備であったがゆえに自然も非常によく残っているということで、出てくる絶滅危惧種も今までの地区と比べてけた違いに多い。そこで事業が行われようとしている。

【委員】なかなか保全も難しい、どういうふうにやればいいのかというのも難しい。

【 県 】これから専門家の先生と相談しながら決めていきたいと考えている。

【委員】現在別途徳島大学で幾つかの専門家で調査してるところで、実際は、いつ産卵して、どこで産卵してるのかもよく分からないという状況です。この調査結果をもって、ぜひ環境配慮の事業に、具体的なものを考えていただきたい。

【委員】工事期間が6か年なので、カワバタモロコの生態調査の結果を、この事業計画の設計にフィードバックさせながらやるということも、考えて進めるとよいと思う。

【委員】ここは、高規格道路の部署とそちらの部署と、それと高速道路の三者が関係している。ここについては三者が共同で検討をする場を設けて、一体となってやっていかないといけないと思う。三者で話ができるような場所ができれば思う。

【 県 】お互いの情報をまずは共有し、その中で「こういう形でいきませんか」という方針ができればと考えている。改めて委員会の場というものは、今のところ考えてない状況です。

【委員】この田園環境の委員をしてきて、最大の案件と思うので、積極的に取り組んでいただきたい。

【委員】カワバタモロコだけではなくて植物でも、ここは徳島県でも貴重な自然環境が残っている場所なので、専門家等の意見を聞き、地域の方と協議して、慎重に進めていってほしいのが、この委員会としての総意だと思います。

7. 中山間地域総合整備事業 三野西部地区

【委員】谷東線の排水路の配慮対策ということで、小動物がはい上られる構造を造るが、何mぐらいに一箇所造るのか？

【 県 】具体的な場所や箇所数は、今後、詳細に詰めていく。

5 閉会のあいさつ： 農地整備課長からあいさつ

6 閉 会